

10月の
行事予定

16日(日) 宗祖命日 7時 永照寺本堂
18日(火) 婦人会例会 13時 永照寺門徒会館



永代経法要

永代経法要、無事勤修させていただきました。17日は谷川宏済先生にご出講賜りました。16、18日は住職の自動でした。『永代経』とはお経の名前ではなく「永代読経」の略です。永代に渡りお経が読まれ続けるようにという願いのもと行われる法要です。先人のご苦勞により過去から受け継がれてきた教えを未来へと伝えていく決意をあらたにする意味もあります。永照寺開基以来527年間、変わることなく読み続けたお経があります。それは、浄土三部経『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿彌陀経』です。「お経はどれも同じですか」「どのお経を読んでもいいのですか」とときどき受ける質問です。どのお経もお釈迦様のお言葉ですから、大切にしなければなりません。しかし、心臓病の方が胃薬を飲んでも快方に向かわないようにこの時代、この私が救われていくお経は浄土三部経です。その理由を今回のご法座ではお取次ぎさせていただきます。コロナ禍で不安な中、また台風が近づいているにも関わらず多くの方が聴聞してくださいました。本堂に有難うございました。またご加勢くださった受付世話人の皆様、婦人会の皆様には厚く御礼申し上げます。次回の法座は1月14日〜16日年頭初参会です。どうぞお参りくださいませ。

お寺の
掲示板

亡き人を
仏様と敬い
掌を合わす

〈掲示月〉2022年(令和4年)9月



お寺の掲示板には住職前住職が「毎月」言葉を書いています。通りがかりの人がメモをしたりしていますが「意味を教えてください」と、たずねられることもありますのでこの「お寺の掲示板」のコーナーでお伝えしていきたいと思っております。

テラ・ヘルツ 創刊

参拝記念として冊子を制作してお配りしました。お寺に足の向かない方にも読んでもらえるよう工夫しました。お寺に置いてありますので、どうぞ来寺の際はお持ち帰りください。

10月中旬にはホームページからPDFをダウンロードできるようになります。

凡愚の
つぶやき

お盆からお彼岸までの間、懇志に加え
お野菜 お米をお供えくださり
有難うございました。
お寺は多くの方々の想いに支えられているということをご改めて実感いたしました。
過ぎしやすい季節になりましたが、まだまだ不安な日々が続きます。どうかお体ご自愛下さいませ。



お知らせ

- お経本は床に置かないでください。
- 毎月16日は親鸞聖人命日(おあさじ)にお参りください。
- 住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。
- 最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。(特にお寺で法事をする場合)

永照寺

【開門・閉門の時間】
●開門…6時30分
●閉門…18時



行事予定やお参り・法要などの連絡事項は「ホームページ」にて随時更新しています。 離れて暮らすご家族にもオススメです。

ホームページに関してのご意見、ご希望、メールをお待ちしています。
<https://www.eishouji.or.jp/>

北九州 永照寺 検索



永照寺:住職のブログ【凡愚庵(ほんぐあん)】も合わせてご覧いただければ幸いです。左記のホームページ内に移転しました。



モバイルはこのマークをカメラで読み込んでください。

秋彼岸の秋分の日、祝日の意味は「祖先をつやまい、なくなった人々をしのぶ日」とあります。亡き方を弔つ(むさぶ)こといつ時、古くは「訪らふ」と「ぶらぶら」とも書いてあります。仏事は、私たちが亡き人を訪れていく、その言葉やお姿を訪ねながら、私たちがへの願いに出あう大事なご縁の場です。

浄土真宗は阿彌陀佛の「すべての者を必ず救う」という本願によって出来上がった「南無阿彌陀仏」のお念仏と共に生き、この世のいのちが終わるとき、阿彌陀仏の浄土に生まれ、真実の悟りを開かせて頂くみ教えです。お念仏に遇うということは、お浄土に生まれ、「仏になる人生を歩む」ということです。

また、『仏説阿彌陀経』には、お念仏の教えに遇うものは、「俱会一処」ともに、ひとつ処で会うことと説かれています。「処」とはお浄土を指しています。先にお浄土に生まれた方々のことを想い、そして自分も、お浄土に生まれたいと思つのであれば、必ず、お浄土でもとに会えると説かれています。

父母も、はらからも居(ま)す彼の国へわれも往くなり遠からずして

お浄土へ生まれ、仏様と成られた亡き方々を偲び、私もお浄土へ生まれていく道を聞かせていただくのが、浄土真宗のお彼岸の過ごし方です。